

【第128回教育委員会対象セミナー】<名古屋開催>

生成AIの教育利用に向けた はじめての一步

令和8年2月13日

文部科学省 学校DX戦略アドバイザー
松阪市立米ノ庄小学校 校長 楠本 誠



自己紹介

■ 2012～2016 公立中学校 教諭/指導教諭

- フューチャースクール実証校
- 一人一台タブレット 授業実践

■ 2017～2023 教育委員会 指導主事

- GIGAスクールの端末整備/活用促進

■ 2024～現在 公立小学校 校長

- リーディングDXスクール推進事業
- 生成AIパイロット校

はじめに

チャットGPT、9科目満点

共通テスト解答、AI学力向上

2026年01月20日 07時52分共同通信

17、18日実施の**大学入学共通テスト**を、対話型生成人工知能（AI）「チャットGPT」の最新モデルに解かせると、**9科目で満点**を取ったことが20日、AIベンチャーのライフプロンプト（東京）の分析で分かった。

解答した15科目の得点率は97%だった。満点科目が出たのは初めて。チャッピーの愛称で知られるチャットGPTの秀才ぶりが際立つ結果となった。

文系で国内最難関とされる東大文科1類の受験生の多くが選択する科目に絞っても、**AIの得点率は97%**で高水準だった。大手予備校の河合塾は、合格する可能性が50%になるボーダーラインの得点率が89%と昨年11月に予想しており、この水準を大きく上回った。

ライフプロンプトは2024年から毎年AIに共通テストを解かせている。**東大文科1類科目の24年の得点率は66%、25年は91%**だった。

満点になったのは「数学1A」「数学2BC」「化学」「公共、政治・経済」「情報1」など。

AI講座がシニアにも人気

画像生成や回覧板作成に挑戦

2026年01月18日 19時00分 産経新聞

人工知能（AI）が注目される中、関心を持つ高齢者は少なくない。携帯電話大手などが実施している講座でも高齢者の姿が目立つ。生活を便利にしてくれるツールとして、AI搭載の機器やサービス、対話型の生成AIなどへの期待が原動力となり、積極的な姿勢がうかがえる。会話をできるように使えるAIは、デジタルに苦手意識のある高齢者でも取り組みやすい点も人気の理由の一つだ。

■74歳男性は「日々発見」

74歳の男性参加者は「AIでいろいろなことができるようになった。日々発見だ」と話す。男性は、ひいきのプロ野球チームのユニホームを着たシバイヌの画像を生成。満足のいく出来だったようで、早速スマホの待ち受け画面に設定していた。

ソフトバンクによると、令和6年10月から各地のスマホ教室でAIに関する講座を開始。高齢者向けもあり、画像生成のほか、回覧板の文章作成を学ぶ講座が人気を集めている。

チャットGPTに18歳未満制限

成人向け表現から保護

2026年01月21日 08時37分 共同通信

【ニューヨーク共同】

米オープンAIは20日、対話型の生成人工知能（AI）「チャットGPT」に、利用者の年齢を自動的に予測し、18歳未満と判断した場合に閲覧制限をかける新機能を導入すると発表した。成人向け表現の解禁に向けた準備の一環で、有害情報から未成年者を守る安全対策を強化する。

新機能は、利用時間帯や会話傾向などを分析して利用者の年齢を判定。18歳未満とみなされると、暴力や性的な表現、自傷行為、過激なダイエットに関する回答などの表示が制限される。

誤って18歳未満と判断された場合は、外部サービスを通じた年齢確認などで修正できる。

生成AI利用経験率（20歳～69歳）



参考 日本リサーチデータ 2025年04月14日 公表

GIGAスクール構想

～一人一台端末の利活用～

	第1段階 デジタイゼーション 電子化	第2段階 デジタイゼーション 最適化	第3段階 デジタルトランスフォーメーション 新たな価値
段階	標準モデルアプローチ 経験・勘による「属人知」  デジタル化で効率・効果的に (GIGAスクールによる1人1台端末整備等)	 ICT・データ活用による指導・教育 行政の改善・最適化 (1人1台端末の効果的な活用によるデータのフル活用)	「個別最適モデル」アプローチ 「集合知」の活用  学習モデルの構造等が質的に 変革し、新たな価値を創出
キーワード	電子化	最適化	新たな価値
何が変わるか	道具だけが変わるが 中身・流れは同じ	道具が変わり、中身・流れも 変わるが、意味・役割は同じ	道具も中身・流れも変わり、意 味・役割そのものも変わる

文部科学省「教育DX・教育データの利活用について」をもとに加筆

第1段階：電子化（デジタイゼーション） ＝「紙・人手」をデジタルに置き換える段階

概要

これまで 紙や口頭、手作業で行っていた業務をデジタル化
仕事の中身や考え方は ほぼ変わらない

学校現場の例

紙のテスト → デジタルテスト
紙のアンケート → Forms入力
通知表 → Excel・校務支援システム
配布プリント → Teams・Classroom

ポイント

効率化・省力化は進む
教育の質そのものはまだ大きく変わらない
「まずここから」だが、DXそのものではない

第2段階：最適化（デジタルイゼーション）

＝デジタルを前提に「やり方」を見直す段階

概要

- ・デジタルの強みを活かして業務や学びのプロセスそのものを再設計
- ・人、時間、データの使い方が変わる学校

現場の例

- ・学習履歴データを使った個別最適な学び
- ・自動集計・分析による評価の効率化
- ・振り返り → 蓄積 → 次の授業改善へ
- ・校務の分業・見える化

ポイント

教員の働き方改革が進む

子ども一人ひとりに合った指導が可能

※まだ「既存の枠組み」の中 多くの学校が今はここを目指している？！

第3段階：新たな価値の創出（DX）

＝デジタルで「教育の在り方そのもの」を変える段階

概要

- ・デジタルを前提として 学校・学び・教師の役割を再定義
- ・これまで不可能だった教育価値を生み出す

学校現場の例

- ・探究×データ×地域をつないだ学び
- ・学年・教科を越えた学習設計
- ・AIによる学習支援・評価補助
- ・学校が「地域の学習拠点」になり、子どもが学びをデザインする学校

ポイント

- ・教育の質・公平性・持続可能性が向上
- ・学校文化・組織文化が変わる
- ・校長のビジョンが強く問われる

タブレット端末の教育利用に向けたはじめの一步

これまでの学びを活かした計画作り

10の不安 ～一人一台タブレットを活用した授業について～

- ① ICT機器は**無くても授業はできる**ので…
- ② 私、**ICT機器を使ったことはありません!**
- ③ 毎日、**忙しい**ので研修を受ける時間が無い
- ④ ICT機器の使用は**効果があるの?**
- ⑤ 情報モラルに関わる**トラブルが心配**です…
- ⑥ **故障や破損**したときはどうするの?
- ⑦ **視力低下**などに影響はないの?
- ⑧ **書く力**などが低下しないの?
- ⑨ **授業中困った**らどうしたらいい?
- ⑩ Windowsで作った**教材、使えますか。**

これらの
不安の解決へ

これまでの学びを活かした計画作り

教務主任の立場 不安解決につなげる3つの視点

可能性	ICTで「できること」の体感
	「自分もできる」の体感
日常性	日常化/継続化に向けた活用
	目的に応じた活用(計画と実践)
拡張性	人/場所/目的に応じた活用
	総合的/複合的な活用

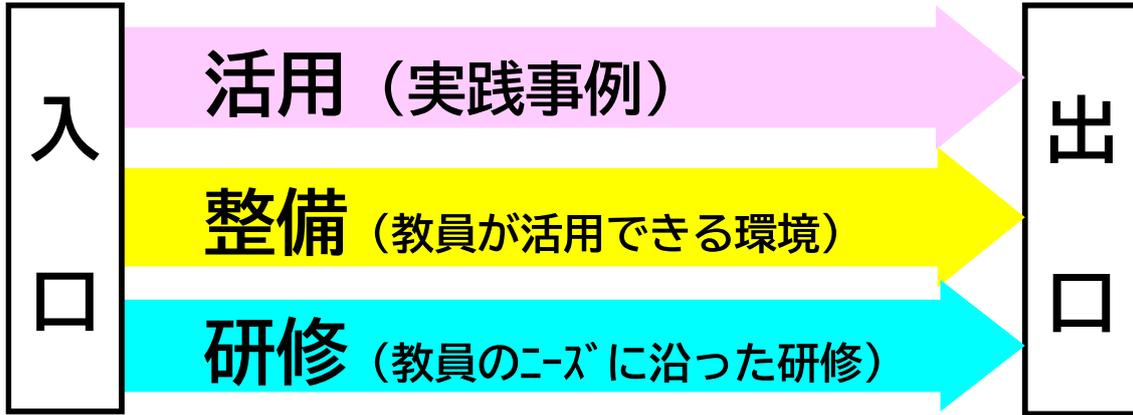
これまでの学びを活かした計画作り

生徒が学習効果につながると実感したカメラの活用法

① 撮る	② 書く	③ 見る
		
④ 見せる	⑤ 拡大する	⑥ 送受信する
		

これまでの学びを活かした計画作り

指導主事の立場 学校での推進に向けた3つの柱



生成AIの教育利用に向けた はじめの一步

これまでの学びを活かした計画作り

10の不安

～教育での生成AIの活用について～

- ① AIが無くても授業や仕事はできる
- ② 私、AIを使ったことはありません
- ③ 操作等が難しそう
- ④ AIの使用は効果があるの？
- ⑤ 著作権など新しいモラルに関することも知らない
- ⑥ 使用前の段階で、子どもが活用する力の差がありそう
- ⑦ 毎日、忙しいので研修を受ける時間が無い
- ⑧ 子どもの考える力などが低下しないの？
- ⑨ 授業での活用イメージができない
- ⑩ 子どもに教える自信がない

これらの
不安の解決へ

これまでの学びを活かした計画作り

教務主任の立場 不安解決につながる3つの視点

↓	可能性	ICTで「できること」の体感 「自分もできる」の体感
	日常性	日常化/継続化に向けた活用 目的に応じた活用(計画と実践)
	拡張性	人/場所/目的に応じた活用 総合的/複合的な活用

これまでの学びを活かした計画作り

生徒が学習効果につながると実感したカメラの活用法

① 撮る	② 書く	③ 見る
④ 見せる	⑤ 拡大する	⑥ 送受信する

これまでの学びを活かした計画作り

指導主事の立場 学校での推進に向けた3つの柱



段階	第1段階 デジタルイゼーション 電子化	第2段階 デジタルイゼーション 最適化	第3段階 デジタルトランスフォーメーション 新たな価値
		標準モデルアプローチ 経験・勘による「属人知」 デジタル化で効率・効果的に (GIGAスクールによる1人1台端末整備等)	ICT・データ活用による指導・教育 行政の改善・最適化 (1人1台端末の効果的な活用によるデータのフル活用)
キーワード	電子化	最適化	新たな価値
何がかわるか	道具だけが変わるが 中身・流れは同じ	道具が変わり、中身・流れも 変わるが、意味・役割は同じ	道具も中身・流れも変わり、意 味・役割そのものが変わる
AIの役割	代行する 「先生を助けるAI」	支援する 「授業をよりよくするAI」	共創する 「学びを一緒につくるAI」

文部科学省「教育DX・教育データの利活用について」をもとに加筆

第1段階：電子化（デジタイゼーション）

= 「人がやっていた作業をAIが代わる」

生成AIの活用例

- ① 所見・コメントの下書き作成
 - 学習記録や観点を入力
 - 所見文のたたき台を生成教員は「確認・修正」に集中
 - 通知表作成の負担軽減
- ② 通信・文書の文章化
 - 箇条書きメモ
 - 保護者向け文章に整形(行事案内、校内文書)
 - 文書作成時間の短縮
- ③ 教材のたたき台作成(ワークシート、テスト)
 - 学年・教科・内容、分量を指定
 - 準備時間の削減

実践例 体験/経験×イメージ化

■ 生成AIとのやりとりを体験・経験



- ① 論点比較と一覧表作成
- ② 画像認識
- ③ 問題文の読み取りと問題解説
- ④ アンケート分析
- ⑤ 発出文書の作成

■ 体験・経験でイメージ化/できるところから活用

①論点比較と一覧表の作成

春と秋の違いをまとめた。違いが明確になる5つの視点で比較して表であらわして。

StudyPocket

春と秋はどちらも移り変わる季節であり、日本を含む多くの地域で特有の特徴を持っている。以下の5つの視点で、春と秋の違いを比較してまとめる。

視点	春	秋
気候の変化	寒い冬から暖かい夏へと移り変わる時季で、気温が上昇する	暑い夏から寒い冬へと移り変わる時季で、気温が低下する
自然の特徴	草木が芽吹き、花が咲く(桜、梅、菜の花など)	葉が色づき、紅葉が見られる(カエデ、イチョウなど)
文化的行事	入学式、花見、春祭り	運動会、収穫祭、紅葉狩り
感じられる印象	新しい始まり、エネルギーの高まり	物寂しい美しさ、落ち着きと成熟感
日照時間	日が長くなり、日照時間が増える	日が短くなり、日照時間が減る

このように、春と秋は異なる気候や自然の変化、文化的行事を特徴とし、それぞれの季節に特有の印象を私たちに与えます。春は生命の誕生や始まりを象徴し、秋は成熟や収穫を象徴する季節として、多くの人々に様々な感情を呼び起こします。

[CSVをダウンロード](#)

②画像認識



この教室環境の改善点は

StudyPocket

教室の環境を改善するためには、いくつかの点で注意を払うことが考えられます。以下はこの画像に基づくいくつかの改善点の例です：

- 清掃用具の配置
 - ほうきとちりとりが床に置かれたままになっています。使用後は、安全で適切な収納場所に戻すことで、教室内の安全性と整頓を保ちやすくなります。
- 机と椅子の配置

③高校の入試問題にチャレンジ

2 次の略地図を見て、あとの各問いに答えなさい。(9点)

(1) 略地図に示した熊本県にあり、カルデラをもつ火山の名称は何か、次のア～エから最も適当なものを1つ選び、その記号を書きなさい。

ア. 有珠山
イ. 阿蘇山
ウ. 阿蘇山
エ. 霧島山

(2) 資料1は、略地図に示した秋田県、宮城県、三重県、和歌山県における、農業産出額のうち、米と果実の産出額、漁業産出額を示したものである。資料1のaとcにあてはまる県名の組み合わせはどれか、次のア～カから最も適当なものを1つ選び、その記号を書きなさい。

ア. a-秋田県 c-宮城県
イ. a-宮城県 c-三重県
ウ. a-和歌山県 c-三重県
エ. a-秋田県 c-和歌山県
オ. a-和歌山県 c-三重県
カ. a-三重県 c-秋田県

資料1

	農業産出額(億円)		漁業産出額(億円)
	米	果実	
a	795	30	718
b	1,078	89	27
c	78	759	127
d	270	70	361

【注】数値は2020年のもの
〔データである様勢2022〕から作成

1と2を解いて

令和6年度三重県立高等学校入学選抜学力検査問題社会科
<https://www.pref.mie.lg.jp/common/content/001125163.pdf>

StudyPocket

問題を解いてみましょう。

問1

カルデラをもつ火山の名称として考えられるのは以下の通りです。

- ア：有珠山
- イ：阿蘇山
- ウ：阿蘇山
- エ：霧島山

カルデラで有名な火山として、熊本県にあるのは「阿蘇山」です。

問2

資料1に基づいて、米や果実の産出額、漁業産出額の情報を分析します。

- a：米の産出額が795億円、果実が30億円、漁業が718億円
- c：米の産出額が78億円、果実が759億円、漁業が27億円

これらのデータを、それぞれの県に当てはめます。

考察

- 宮城県は漁業が盛んであるため、漁業産出額が高い700億円台は宮城県が該当します。従って、aは宮城県と推測できます。
- 和歌山県は果実の産出額が高いので、果実が591億円のcが和歌山県と考えられます。

したがって、正しい組み合わせは：

- a：宮城県 (漁業産出額が高い)
- c：和歌山県 (果実産出額が高い)

この条件に最も適合するのは選択肢エです。

- エ：a-宮城県、c-和歌山県

それでは、最終的な答えは以下の通りです。

- 問1の答え：ウ (阿蘇山)
- 問2の答え：エ (a-宮城県、c-和歌山県)

第2段階：最適化（デジタルイゼーション）

= 「AIを前提に、やり方を見直す」

生成AIの活用例

- ① 児童生徒の振り返り分析
 - Forms等で集まった振り返りをAIが整理
 - つまずき・伸び・傾向を可視化 つまずきマップ
 - 次時の授業改善に活用
- ② 個別フィードバックの生成
 - 同じ課題でも、児童ごとに言葉を変えてコメント
 - ★1～2にはやさしい日本語 ★3～4には次の挑戦
 - 個別最適な支援
- ③ コミュニケーションのヒント
 - 記録を入力
 - コミュニケーションのヒントを生成
 - 自分のコミュニケーションの癖を知る

活用例

振り返りの即時返信

- 授業後に行う児童の振り返り
- 担任
 - キーワード分析 ★の数で評価
 - 教科の見方・考え方を踏まえた評価
 - 更なる学習へのアドバイス

第3段階：新たな価値の創出（DX）

= 「AIとともに、学びの意味を変える」

生成AIの活用例

- ① 探究学習の伴走者としてのAI
 - 課題設定・仮説をAIが支援
 - 子どもは「考えること」に集中
- ② 学年・教科を越えた学びの設計
 - データを基に学習を再構成
 - AIがカリキュラム横断の提案
- ③ 学校×地域×データの新しい連携
 - 地域課題をAIが整理・可視化
 - 子どもが地域へ発信

生成AIに聞く

正確な回答を導くプロンプトの4要素

① 「役割の指定 (Role)」

AIに専門家の役割を与える

例: 「あなたはプロの教育者です」

② 「具体的な文脈 (Context)」

背景や目的を詳細に伝える

例: 「新年度の職員会議で伝える教育目標を修正点を踏まえ要約をしてください」

③ 「明確な指示 (Instruction)」

曖昧さを避け、何をすべきか具体的に指示する

例: 「～を3つの箇条書きで」「表の形で」

④ 「制約条件 (Constraints)」

出力形式、トーン、制限文字数などを指定する

例: 「小学生でもわかる言葉で」「ですます調で」

プロンプトテンプレート

役割

あなたは[具体的な専門家]です。

目的

[何を実現したいか]

タスク

1. [タスク1]

2. [タスク2]

制約条件

- [回答の長さ、トーンなど]

- [必ず含めること]

- [やってはいけないこと]

出力形式

- [表形式、markdown、箇条書き]

参考情報 (もしあれば)

- [入力データ、背景知識]

まとめ

まとめ

① 生成AIを知る

- AIは「答え」でなく「提案」「きっかけ」
 - 教員・子どもの力を拡張する
 - 情報を吟味する力の育成
(批判的思考 判断力)

3まとめ

② ビジョンの共有と目的の明確化

- 「なぜ生成AIを導入するのか」の共有
 - 目的の明確化 ※ **学びの結果** < **過程**
 - 学校教育方針との整合性を強調
 - 成功事例の紹介

3まとめ

③ 段階的な導入と教職員の主体性の尊重

- 「**一斉**」から「**段階的**」「**選択的**」に
 - 「やらされ感」の排除
 - 直接的でなく間接的に
 - 情報共有の場の設定

3まとめ

④ 研修とサポート体制の充実

- 教職員が安心して使える環境の整備
 - **イメージできる**実践的な研修
 - 校内リーダーの育成
 - **生成AIに聞いてみる**

3まとめ

⑤ 倫理・情報モラル教育の徹底

- 「正しく使う」意識の育成
 - 生成AIのリスク、限界の共有
 - ルールの共有（ガイドラインの要約）
 - **大人も子どもも学ぶ**

警察庁
内閣府
子ども家庭庁
文部科学省

そのAIの使い方、 犯罪かも・・・

服を脱がすなどの画像加工のリスク

SNS投稿や友達との共有は
トラブルや犯罪、人権侵害につながることも

被害を受けた方へ

被害にあったとき・困ったときの相談窓口

びったり相談窓口 この性の被害等に関する相談窓口 に関するWebサイト	#8103 性犯罪被害相談電話 発信した地域を管轄する都道府県警察の 性犯罪被害相談専用相談窓口 につながります。	#9110 警察相談専用電話 警察庁の警察本部 の相談窓口につながります。	0120-0-78310 24時間 子供SOSダイヤル 電話をかけた所在地の教育委員会 の相談窓口につながります。
--	--	---	--

警察庁
内閣府
子ども家庭庁
文部科学省

そのAIの使い方、 犯罪かも・・・

AIは便利なものだけど、
使い方を間違えると大変なことになる！

軽い気持ちで他人の画像をAIで加工してSNSに投稿したら・・・

- AIは色んなことができますけど、こんな変なことはいいのかな？
「あのこの画像の服を脱がせてみようかな・・・」
簡単に画像が作れた。
でも、この画像はまじいかも。
勝手に見たらどう思うかな？
- SNSに投稿した5ヶ条かも！
ちょっと待って！
一度、SNSやグループチャットに
投稿した画像は監視され、
もう二度と消すことはできない！
- それってすごいことだと思ってる？
全然すごいなし、面白くないし、カッコ悪いよ！
- ごめん・・・こんなつもりじゃなかったのに
画像の監視は必ずして相手を見つける！
ふざけ半分で監視されない！

保護者の皆様へ
お子様は普段から生成AIを利用していますか？
生成AIを使った性的な画像加工やSNS等での拡散がトラブルや犯罪、人権侵害につながるケースがあります。
家庭内でルールやモラルについてよく話し合ってください。

被害を受けた方へ

被害にあったとき・困ったときの相談窓口

びったり相談窓口
この性の被害等に関する相談窓口に関するWebサイト

#8103 性犯罪被害相談電話
発信した地域を管轄する都道府県警察の性犯罪被害相談専用相談窓口につながります。

#9110 警察相談専用電話
警察庁の警察本部の相談窓口につながります。

0120-0-78310
24時間
子供SOSダイヤル
電話をかけた所在地の教育委員会の相談窓口につながります。

引用：警察庁

[HTTPS://WWW.NPA.GO.JP/](https://www.npa.go.jp/)

ありがとうございました